

# 2024年度 人権文化をすすめる県民運動

## 【 人権標語 】

|  |             |
|--|-------------|
| 「ありがとう」の言葉は 心と心をつなぐ せつ着ざい                | 長谷小3年 樋川 旺汰 |
| 思いやりが せかいをすくう たからもの                      | 寺前小3年 西藤 晶  |
| いじめる心をすてて みんなをたすける心にかえよう                 | 神崎小3年 佐想 史佳 |
| やさしくね けんかはしない ありがとう                      | 神崎小3年 堀口 湊月 |
| 考えよう バリアフリーのこと 考えるとみんながえがおになる            | 寺前小4年 平岡 らい |
| あなたの言葉 だれかの 心にきつとひびく                     | 神崎小4年 太田 はな |
| わるぐちは ひとのこころの はものだよ                      | 神崎小4年 田中 心結 |
| ありがとうって言われても ありがとうって言っても うれしくなるのはなんでだろう? | 長谷小5年 山手 龍空 |
| 助け合おう みんな仲間 1人じゃない                       | 寺前小5年 村上璃衣奈 |
| あいさつは 世界のどこでも だれにでも みんなをつなぐ まほうのことは      | 神崎小5年 松本 耀介 |
| 男らしく女らしく そんな言葉は必要ない 自分らしく 生きていこう         | 長谷小6年 大津 星香 |
| 自分が笑う まわりも笑う みんなでつなぐ 笑顔のバトン              | 寺前小6年 木下愛友花 |
| 考えを 見直してみよう かわるかも 一つかえると 未来がかわる          | 神崎小6年 中塚 来  |
| あなたの笑顔で まわりも笑顔 すてきな笑顔で 社会がかわる            | 神崎小6年 大高 花奏 |
| ちがっても 認めあえば 心はひとつ                        | 神河中1年 上垣 幸桜 |
| 世界には「ちがい」があつて いいんじゃない?                   | 神河中1年 植垣 花撫 |
| 気づいてる? 君は誰かの 宝物                          | 神河中2年 垣内 杏  |
| 「ありがとう」 その一言に ありがとう                      | 神河中2年 槇 大翔  |
| ちゃんと見て あの子は本当に 笑ってる?                     | 神河中3年 清水 絆愛 |
| 言葉の矢 一度ささったら 治らない                        | 神河中3年 竹村 柚希 |

(当時学年 敬称略)

## カミングアウトとアウティング

性的話だけではなく、自分の秘密やプライベートに関することを他者に告白することを**カミングアウト**といいます。これは本人が相手を信頼し、自分の意思で行われるものです。

これに対して、第三者が本人の承諾を得ずに、その個人の特性や障がい、セクシュアリティやジェンダーなどを他者に言いふらすことを**アウティング**といいます。

「ここだけの話だけど…」などと他者に伝えてしまい、周囲が知ってしまうと、本人や家族の精神的苦痛になり、その人の居場所を奪ってしまうなど、重大な人権侵害につながりかねません。